

令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立春日北小学校	児童数 523人
-----	------------	----------

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本にたくさんふれて楽しもう
	取組期間	令和7年(2025年)4月7日 ~ 令和7年(2025年)11月28日

II.取組後の評価

評価	取組人数	523人	実施日数	238日	読書冊数	56755冊	連携した団体数	0団体
	取組内容(概要)	<p>1本にふれる環境づくり</p> <p>2本を楽しむきっかけづくり</p> <p>3本との出会いを生む図書体のイベントの実施</p>						
	工夫したこと	<p>1本にふれる環境づくり</p> <p>① 図書館内の掲示を新しく作り替え、入り口の飾りを季節ごとに替えることで、明るく、入りたくなる図書室になるように心がけた。【①】</p> <p>② 様々なジャンルの本を手に入れるように工夫した。図書室内で季節に応じた本を飾るとともに、時事問題に応じた特集も組んだ。【②】</p> <p>③ 図書館の廊下に「どくしょの木」のコーナーを設けた。貸出冊数が増えるごとに名前を書いたリンゴの実の色が変わるようにしてある掲示物で、自分の貸出冊数がどれだけなのかを誰もが把握できるようにした。今年度から、1年生は100冊までは、授業時にリンゴの実のカードをみんなの前で渡すことで、このカードを貼ることを習慣付けるとともに、本をたくさん借りたいという動機付けることができた。また、今年度は、リンゴの実のカードと一緒にもらう券を校長室へ持って行くと、校長先生からごほうびシールを貰うことができるように実施した。校長先生本人から直接褒めてもらうことを楽しみにしていた児童も多かった。【③】</p> <p>2本を楽しむきっかけづくり</p> <p>① 春日北小学校では、家庭学習の定着を目指して、1週間分の家庭学習の様子を記録する「北っ子ががんばろう週間」を行っている。図書館では、この「北っ子ががんばろう週間」に合わせて「家読週間」を行った。家族と一緒に本を読んだり、おススメの本を紹介したりするプリントを配布し、1週間分を記録して提出してもらった。家で家族と共に読書をし、本について家庭で話す機会を設けることで、自宅でも本を読むきっかけとなった。【④】</p> <p>② 国語科や社会科などの調べ学習で、図書館の本を資料として授業中に作成したりフレッツや作品を図書館内に掲示した。様々な学習の成果を見ることで、図書館に来る児童の、いろいろな本に対する興味・関心を高めることが出来た。【⑤】</p>						

	<p>3 本との出会いを生む図書館主体のイベントの実施</p> <p>① 宝箱の中に本を入れ、ヒントの言葉と手で触れた重さをたよりに、箱の中に何冊本が入っていつかを当てるイベントを学期に 1 回行った。誰もが簡単に参加できることから、1 年生から 6 年生まで、全学年に人気があり、異学年同士で話し合っ て答えを探す光景も見られた。図書室へ出向くきっかけづくりとなった。【⑥】</p> <p>② 宝探しのように図書館の中に隠された絵や言葉を探す、「としょかんみつけ！」を 企画した。利用が少ない本棚に隠すことで、普段は手に取らない本に関心を持つ きっかけとなるように工夫した【⑦】</p> <p>③ 図書館のマスコットキャラクターを決めるコンクールを行った。児童にマスコッ トキャラクターを募ると、29 作品の応募があり、この中から図書館に来館した児 童に投票してもらいマスコットキャラクターを決定した。どの作品が選ばれるか 関心が高く、全校児童の図書館への関心を高めることができた。結果の集計や決 定したキャラクターをポスターにして、図書館や児童玄関など全校児童が目につ く場所に掲示する活動を図書委員が主体的に行った。このキャラクターカードを 「としょかんまつり」の景品として使用し、「としょかんまつり」への関心も高め ることができた。【⑧】</p> <p>④ 図書委員が「推し本総選挙」を企画した。図書館内で最も好きな本を図書館に来 館した児童に投票してもらい、図書委員が集計し、全校のベスト 3 と各学年の 1 位を発表した。結果として意外な本が選ばれた学年もあった。投票した児童は 330 人にもおよび本への関心を高めることができた。【⑨】</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本と親しむ経験をより多くの児童に体験してほしいという願いを込め、今年度も、 多くの本と出会える場を工夫した。イベントで紹介した本や、図書館内に展示した 本、読み聞かせをした本には、児童はすぐに興味をもち、貸出につながっていた。 また、レファレンスに力を入れることで、本を紹介してほしいと気軽に申し出る児 童が増えた。「この本どこにあります？」と司書や図書委員に尋ねる姿が多く見ら れた。 ・ 今年度は「マスコットキャラクターコンクール」や「としょかんみつけ！」「推し本 総選挙」等のイベントで、今までと違った方向から図書館のPR をすることができ た。様々な取り組みの導入により、「図書館って楽しい」と感じて、興味を持って来 館する児童が増えたと実感している。その成果が、貸出総数とそれぞれの学年の平 均貸出冊数ともに昨年の令和6年度よりも増加している結果に現れていた。【⑩】 ・ 令和6年度から、児童が図書館へ来館して実際に本を手取る機会を増やすことが、 より多くの児童に読書に親しむためには重要だと考え、様々な活動に取り組んでい る。この成果により4月から11月までの貸出総数では、令和 6 年度は令和 5 年度よ り7000冊以上も増加させることができた。今年度はこれをさらに増やすことができ た。【⑩】
<p>今後の取組予定 (令和 7 年(2025 年) 12 月～令和 8 年 (2026 年) 3 月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからも児童とのコミュニケーションを大切にし、イベントや展示を通して、児 童が安心して読書に親しむことができる図書館を心掛け、児童の成長につなげてい きたい。今後は、読書内容という点にも重点をおいて、子どもたちの多様性を尊重 しながら、すべての子どもが読書を楽しめる図書館の在り方を模索していきたい。

(1) 本にたくさんふれる環境づくり

① 図書館内の掲示



←としょかんの壁面を作り替え、図書館の雰囲気が明るくなった。【①】

入り口は季節に合わせて飾り付けをした。 →
思わず立ち寄りたくなる図書館を目指した。【①】



②本の特集

特集コーナーの本には星のマークを貼り、ラッキーブックとして、借りるごとにスタンプを押している。スタンプが溜まると貸出券をプレゼントしている。【②】



←季節の本は昨年同様、毎月紹介している。【②】

ノーベル賞受賞など、その時々話題になった出来事に関連した特集を行った。【②】 →



←図書委員の
おすすめ
の本



←先生の
おすすめ
の本

↑昨年も人気があった「としょいいんのおすすめの本」と「先生のおすすめの本」は、としょかんまつりに合わせて行った。今年も人気があり、いつも貸し出しされていた。

③リンゴの木



←【どくしょの木】貸出数
30冊、50冊、100冊、
150冊、200冊、300
冊、400冊、500冊と
増えるごとにりんごの色
が変わる。昨年度は700
冊まで増えた。【③】

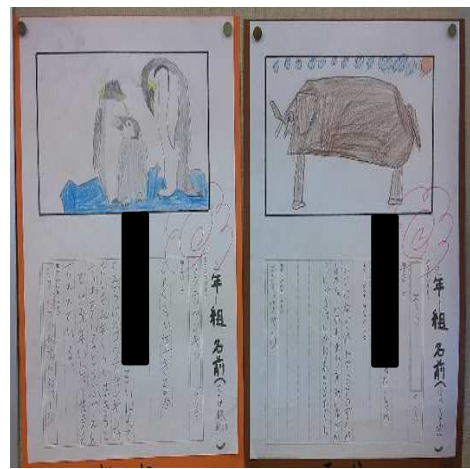
(2) 本を楽しむきっかけづくり

① 家読



←家族と一緒に読
書を楽しむこと
を目標とした家
読。読んだ本の
名前をりんごの
中に書くように
した。【④】

②授業のリーフレットの掲示



←図書館の中
に掲示すること
で他学年の
子どもたちも
興味を持って
見ていた。【⑤】

(3) 本との出会いを生む図書館主体のイベントの実施

①宝箱の中の本の冊数を当てる



↑宝箱の形の箱を準備したの
で、どの学年も興味津々で参
加していた。【⑥】

いろいろな学年の子どもたち
が協力して、何冊入っているか
考えていた。【⑥】 →



←ヒントをもとに、本を
持って来て重さから
冊数を考えている児
童もいた。【⑥】

②としょかんみつけ



←かくされ
た絵を探
す子ども
たち。【⑦】



←みつけの問
題は図書委
員が考えた。
【⑦】

③キャラクターコンクール



↑ 29作品の応募があった。【⑧】

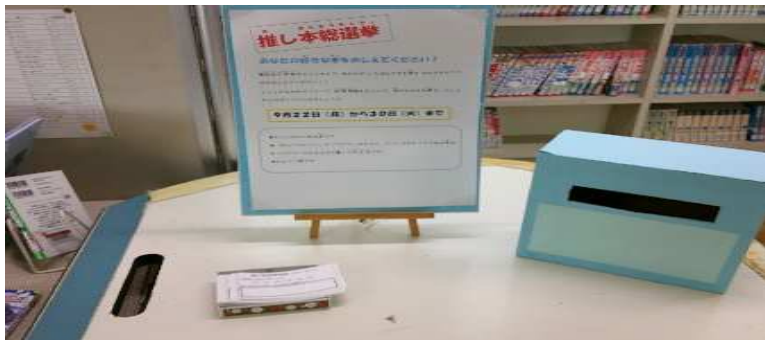


えらばれたキャラクターは図書館や児童玄関に掲示し、貸出券の絵として活用した。とても人気があった。【⑧】

← 255名もの児童が投票した。【⑧】



④推し本総選挙



← 330名もの児童が投票した。図書委員会で集計し、学年の1位と全校のベスト3位までを発表した。【⑨】

4月から11月までの貸出総数と平均冊数の比較

【貸出総数】【⑩】

	R5	R6	R7
総数	45881	53039	56755



【平均冊数】【⑩】

	R5	R6	R7
1年生	98.4	142.5	189.0
2年生	92.1	93.5	100.1
3年生	94.7	114.2	123.0
4年生	88.4	87.2	100.7
5年生	69.0	65.7	69.4
6年生	55.6	78.3	76.5
合計	82.4	96.1	108.5

